

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社デラシネラ
公演団体名	カンパニーデラシネラ

内容
<p>ワークショップでは、体育館にて体操服で出演者と一緒に生徒が動きます。他人とタイミングをあわせ動くことは、他者に対する想像力や、思いやりの心に繋がります。そして出演者の見本から出発し、生徒各々がイメージした動きを、実際に身体を動かしながら体験します。</p> <p>パントマイムで大切なことは想像力と、物事をよく観察することです。その二つをテーマに、相手の真似をすることから始め、随時発表の機会を交えながら、お互いに見合い尊重しあいながら、いろいろな動きに取り組みます。</p> <p>パントマイムの特性である創造性と想像力を大切に、舞台を身近に感じてもらえるよう、事前に学校を訪れ、生徒とコミュニケーションを取りたいと考えています。</p> <p>【内容】真似やピタッと止まる人形振り、それぞれの身体の関節に着目してみる。 二人組みになって相手と一緒に動く。お互いに相手を支えたり、交互に動くゲーム。 最後に、「ドン・キホーテ」演目中に希望者全員で輪になって踊るダンスを指導、実演。 実際に身体を動かしてみることにより、本公演の作品理解がより深まります。</p>

タイムスケジュール（標準）
挨拶（5分）、実際に立って身体を動かす。人形振りや真似っこゲーム等（30分） 二人組みになって相手と一緒に動く。お互いに相手を支えたり、交互に動くゲーム（30分） グループになって、互いにリズムや動きを合わせて動く（20分） 最後の挨拶（5分）

派遣者数
メイン講師1名 アシスタント1名

学校における事前指導
特に必要ありません。体操服での参加をお願いします。 ホワイトボード（黒板）1枚と、CDデッキ1台、お貸し頂けたらと思います。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社デラシネラ
公演団体名	カンパニーデラシネラ

演目
カンパニーデラシネラがお送りする体育館におけるパフォーマンス 「劇場ではない場所」で行う 円形舞台 セルバンテスの「ドンキホーテ」を、身体表現を混ぜた演出で上演します。 カンパニーデラシネラは、劇場での作品発表の他、野外や小学校に向向いての本格的な舞台作品を創作しています。舞台と客席の境界線を取払い、同じ地平で行うことを目標に、普段、劇場に足を運ぶ機会が少ない方と出会える機会を模索しています。演出家小野寺修二はパントマイム出身で、身体性に富んだ舞台作品を数多く発表。またこのプロジェクトは、プロダクトデザイナー石黒猛を美術家として迎え、作品中の様々な小道具が電動で動く仕組みが仕込まれています。体育館という日常の空間は、デラシネラと石黒猛の美術によって異空間へと誘われ、観客の想像力によって大なる非日常へと飛躍します。大人も子どももそれぞれ楽しめる、観客参加型パフォーマンスとなっています。

派遣者数
出演者 6名 音響 1名 舞台助手 1名 計 8名

タイムスケジュール（標準）
搬入・事前準備・客席設営 90分 生徒入場 10分 演目 60分 カーテンコール・生徒との挨拶 10分 撤収・後片付け 60分

実施校への協力依頼人員
準備段階で、客席設営にご協力いただけると助かります。 パイプ椅子を全体観劇人数の1/3程度の個数、お借り出来たらと思います。

演目解説

17世紀初頭に発表されたスペインの作家、ミゲル・デ・セルバンテスの小説。
騎士道に熱中するあまり自分を伝説の騎士だと思い込んだ男ドン・キホーテが、痩せこけたロバのロシナンテと従者サンチョ・パンサを引き連れて、遍歴の旅に繰り出す物語。
空想と現実、虚像と実像、様々なものが入り乱れ、奇想天外な騒ぎへとつながっていく。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

観客に参加して頂くシーンがあります。演者の誘導に従って実際に動いて頂きます。
また、事前に人物相関図やあらすじが載ったパンフレットを配布し、作品理解が深まるようつとめます。

児童生徒とのふれあい

観客に演技に参加して頂くだけでなく、道具の一部を実際に持って頂いたり、即興でふれあえるシーンがあります。「ドン・キホーテ」という古典名作ですが、設定を現代に置き換えたシーンもあり、親しみやすい作品となっており、低学年から高学年まで一緒に楽しめる時間となっています。